

掲示板のことば

今チェンジ

どんな夜も

輝いて消えないものに

手を伸ばして

僕らまだ不確かな

未来歌えるよ

『呼び声』 Vaundy

2026. 03

この言葉は、Vaundy（ヴァウンディ）というアーティストの『呼び声』という楽曲の中にある言葉です。この曲は、作年末に放送されたNHKの番組「18祭（フェス）」で、1,000人の18歳たちが合唱した曲です。

多様な18歳たちが合唱当日を迎えるまでの思いを語り、歌詞から感じることも語りながら当日を迎えるのですが、その日に初めて、Vaundyからこの楽曲のタイトルは『呼び声』だと聞かされます。

この曲には「今チェンジ」「今チェンジ」「今チェンジ」と繰り返されるところがあるのですが、それを「今が変わるときだ」と、外からの呼び声だと感じたのか、「今変わりたいんだ」と、自分の内側からの声として受け止めたのか、それはわかりませんが、タイトルを聞いた18歳たちの中には涙を流す人もいました。実は、私も「うるっ」ときてしまいました。

「輝いて消えないものに手を伸ばして」、と聞いたとき私は、「ほんとう」を求めているということかなと思いました。欲しいものを手にしたと思っていたら、輝きを失い次から次へと消えてしまう、そんな経験は私にもあります。そんなとき、「輝いて消えないもの」に憧れ、求めます。

「不確かな」のは、わからないということでしょう。未来はわからないけれど可能性はある。輝いて消えないものを求め、「ほんとう」を手にする未来を思い描くことはできるのです。

未来を思い描くことで、今の生き方が変わります。それは、いつでも。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹